

授業科目名	特別活動の指導法	教員名	遠藤 宏美	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
					こども音楽療育士	
科目番号	SID206	配当年次	2年前期	情報処理士		
授業形態	講義					
単位数	2単位					
科目						
施行規則に定める科目区分						
一般目標	<p>望ましい集団活動を通して、児童の人間形成を図ることをねらいとする特別活動の意義を理解し、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事について具体的な実践例の検討や指導計画の作成をすることができる。</p> <p>(1) 特別活動の意義、目標及び内容 特別活動の意義、目標及び内容を理解する。</p> <p>(2) 特別活動の指導法 特別活動の指導の在り方を理解する。</p>					
到達目標	<p>(1) 特別活動の意義、目標及び内容</p> <p>1) 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。</p> <p>2) 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。</p> <p>3) 学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。</p> <p>4) 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。</p> <p>(2) 特別活動の指導法</p> <p>1) 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解している。</p> <p>2) 特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解している。</p> <p>3) 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。</p> <p>4) 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業の概要	<p>特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。</p> <p>学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。その上で、具体的な実践事例の検討や、指導計画の作成等を通して、実践的指導力を身に付ける。授業形態は講義とする。アクティブラーニングとして、振り返り、個別の質疑応答、グループディスカッション、小テストなどを取り入れる。</p>					
履修条件・注意事項	<p>内容を理解するうえで、「教育課程論」を履修中もしくは履修・修得済みであることが望ましい。</p>					

授業計画

第1回：オリエンテーション、特別活動とは何か、改訂の趣旨に関する学習

(1)オリエンテーション

(2)特別活動改訂の趣旨及び要点

〔学習指導要領解説 特別活動編 第1章〕（目標(1)-1), 2), (2)-1))

第2回：「特別活動の目標」に関する学習

(1)特別活動の目標、特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連について

(2)特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現について

〔学習指導要領解説 特別活動編 第2章〕（目標(1)-1), 2), (2)-1))

第3回：「特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義」に関する学習

(1)人間形成と特別活動について

(2)特別活動の教育活動全体における意義について

(3)特別活動の内容相互の関連について

(4)特別活動と各教科・道徳科及び総合的な学習の時間などとの関連について

〔学習指導要領解説 特別活動編 第2章〕（目標((1)-1), 2), (2)-1))

第4回：「学級活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)学級活動の目標及び内容について

(2)学級活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第1節〕（目標(1)-1), 3), (2)-1), 4))

第5回：「児童会活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)児童会活動の目標及び内容について

(2)児童会活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第2節〕（目標(1)-1), 4), (2)-4))

第6回：「クラブ活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)クラブ活動の目標及び内容について

(2)クラブ活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第3節〕（目標(1)-1), 4), (2)-4))

第7回：「学校行事の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)学校行事の目標及び内容について

(2)学校行事の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第4節〕（目標(1)-1), 4), (2)-1), 4))

第8回：「指導計画の作成に当たっての配慮事項」に関する学習

(1)特別活動における主体的・対話的で深い学び

(2)特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画

(3)学級経営の充実と生徒指導との関連

(4)幼児期の教育との接続及び関連

(5)障害のある児童など学習活動の困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫

(6)道徳科との関連

〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章第1節〕（目標(1)-1), 2), (2)-2), 4))

第9回：「内容の取扱いについての配慮事項」に関する学習

(1)児童の自発的、自治的な活動の効果的な展開

(2)指導内容の重点化と内容間の関連や統合

(3)ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた指導を図る

(4)異年齢集団や幼児、高齢者、障害のある人々や幼児児童生徒との交流を通して、協働することや社会に貢献することの喜びを得る活動の重視

〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章第2節〕（目標(1)-1), 2), (2)-2), 4))

第10回：入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の取扱い

(1)最高裁判例等の資料を踏まえた指導について

(2)中間テスト

	<p>〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章第3節〕（目標(1)-1), 2), (2)-1), 4))</p> <p>第1 1回：「特別活動の指導を担当する教師」「特別活動における評価」に関する学習 (1)「特別活動の指導を担当する教師」について 〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章第4節〕（目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2), 3), 4))</p> <p>(2)「特別活動における評価」について 〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章第5節〕（目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2))</p> <p>第1 2回：「学級活動の指導方法」に関する学習及び評価 ゲスト講師 杉田康之 (目標(1)-3), (2)-2), 3))</p> <p>第1 3回：「児童会活動の指導方法」に関する学習及び評価 ゲスト講師 杉田康之 (目標(1)-4), (2)-2), 3), 4))</p> <p>第1 4回：「クラブ活動の指導方法」に関する学習及び評価 ゲスト講師 杉田康之 (目標(1)- 4), (2)- 2), 3), 4))</p> <p>第1 5回：「学校行事の実際」に関する学習及び評価 ゲスト講師 杉田康之 (目標(1)- 4), (2)- 2), 3), 4))</p> <p>期末試験：試験期間中に実施する。</p>
授業外学修時間の確保について	<p>事前学習：毎回講義の最後に次回の講義項目を伝えるので、必ず事前にテキストあるいはプリント等の予習をし、不明な点を調べておくこと。ワークシートに記入する場合もある。(週2時間)</p> <p>事後指導：講義の内容を確認し定着を図るとともに、内容に関するレポートや小テストを課す場合にはその理解を図ること。(週2時間)</p>
学生に対する評価	<p>期末試験70%、レポート30%とし、総合的に評価する。 なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に口頭で行う。 ・コメントを記載して返却する。
テキスト	<p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』（ISBN：978-4487287093） 国立教育政策研究所教育課程研究センター『みんなでよりよい学級・学校をつくる特別活動小学校編』（ISBN：978-4799903209）</p>
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）』（ISBN：978-4487287017）</p>
担当者からのメッセージ	<p>児童が学校生活を楽しく豊かに過ごすだけでなく、人間関係形成能力や社会参画の力を育み、よりよい人生を送ることに資するのが特別活動です。この領域が教育課程に設けられていることの意味を理解し、児童とともに成長できる教師になってほしいと願っています。</p>
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間。それ以外の場合にはメールでアポイントを取ることに。</p>
備考	